

モノとつながるエピソードデータベース： 東北学院大学「牡鹿半島のくらし展」を通じて

阿児雄之（東京工業大学）、奥本素子（京都大学）、加藤幸治（東北学院大学）

Narrative database led to cultural properties damaged by a tsunami
"Exhibition -Everyday life of the Oshika Peninsula of before the disaster" by the Tohoku Gakuin University
Takayuki Ako, Motoko Okumoto and Koji Kato

「石巻市鮎川収蔵庫資料」レスキュー活動

3.11 被災



搬出～受入（東北学院大学博物館）



一次洗浄～経過観察～二次洗浄・脱塩処理・二酸化炭素殺虫



「牡鹿半島のくらし展」



返還（2015年に石巻市へ完了）
台帳整備（作業中）
展示・利活用へ（2015年度～）

宮城県の牡鹿半島に所在していた「石巻市鮎川収蔵庫」に保管されていた考古・民俗資料は、東日本大震災時に発生した津波によって壊滅的な被害を受けた。東北学院大学ではこれら被災文化財を受け入れ、大学博物館を拠点に学生達の手でクリーニングや保全作業をおこなってきた。併行して、このレスキュー活動の過程で、被災文化財を地域の方々に見てもらい、文化財や暮らしにまつわる話をインタビューする「牡鹿半島のくらし展」を開催している。2012年より鮎川・仙台・石巻などで開催し、話を伺って作成した「聞き書きシート」はもうすぐ1,000枚近くにのぼる。発表者らは、被災することによって失われてしまったが、本来モノが持っていたであろう人々との関係を「聞き書きシート」に綴られたエピソードを手がかりに結びつけ、被災文化財を将来に繋げていこうと試みている。

また、聞き書きシートをはじめ、レスキュー活動の様子を記録しているカルテや作業日誌のデータ類を集約するポータルサイト「カタリト」を構築している。本サイトでは、活動メンバーが利用する内部情報と、これまでの活動を広く発信する情報を有している。

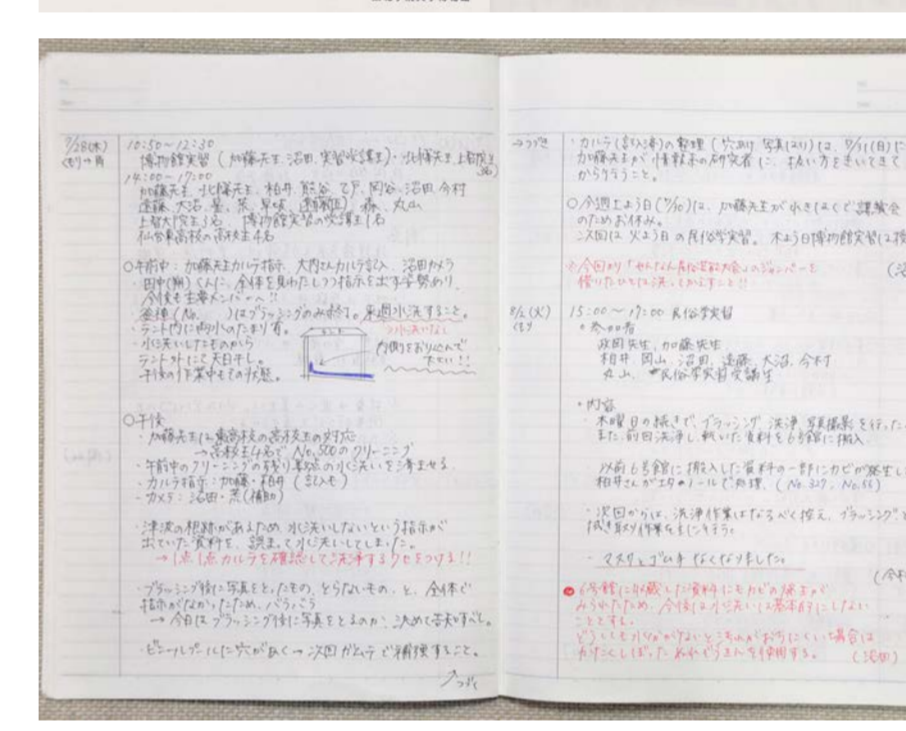
Potal Web site「カタリト」



内部利用情報：カルテ、作業日誌、聞き書きシート



受け入れ時の破損状況や構成素材などを記載したカルテ。汚損・破損状態に応じた処置方法と処置経過も記録している。受け入れ時には、資料名称などを付与する時間的余裕と根拠資料がなかったため、番号で管理。
また、番号は1点ごとではなく、受け入れ単位のため、複数資料に1つの番号が付与されている場合もある。



日々の活動を記録した日誌。洗浄作業をおこなった資料のカルテ番号リストや、活動に関わった担当者名、各地から応援にきたボランティアの情報が記されている。
洗浄方法のコツや展示計画など、レスキュー活動の現場を再現できる詳細な記録である。その分、広く公開・利用する為には配慮や対応が必要な記載も多いため内部利用に留めている。

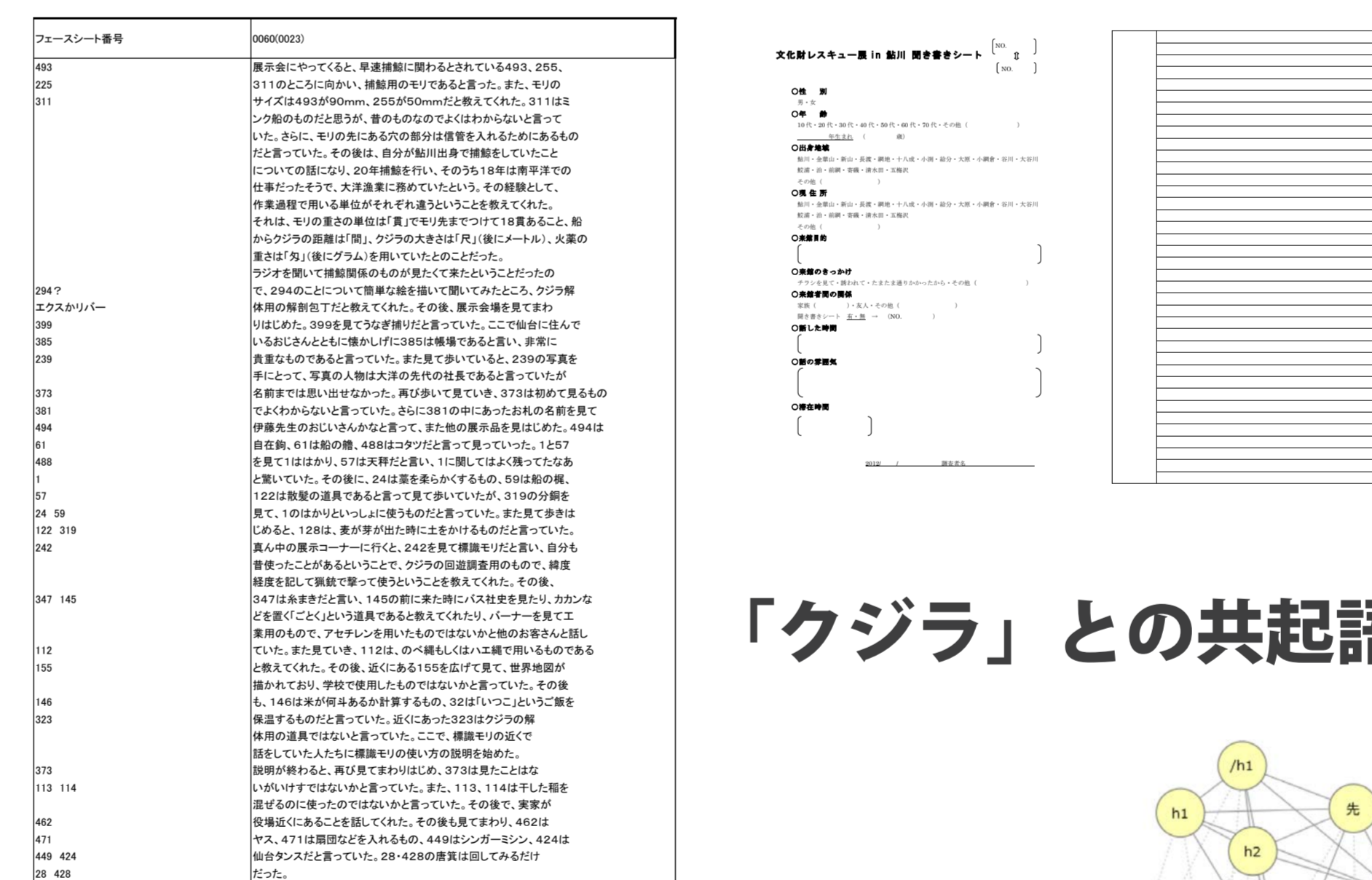
<http://katariito.sakura.ne.jp>

外部公開情報：展示・イベントデータ、論文・発表資料



展示会・イベントデータは東北学院大学学術リポジトリに収録されている。ポスターやチラシはもちろんのこと、展示会場で掲示したパネルデータも収録している。
また、論文や発表資料は大学や新聞社などの各種リポジトリ、データベースへの保存を前提としている。

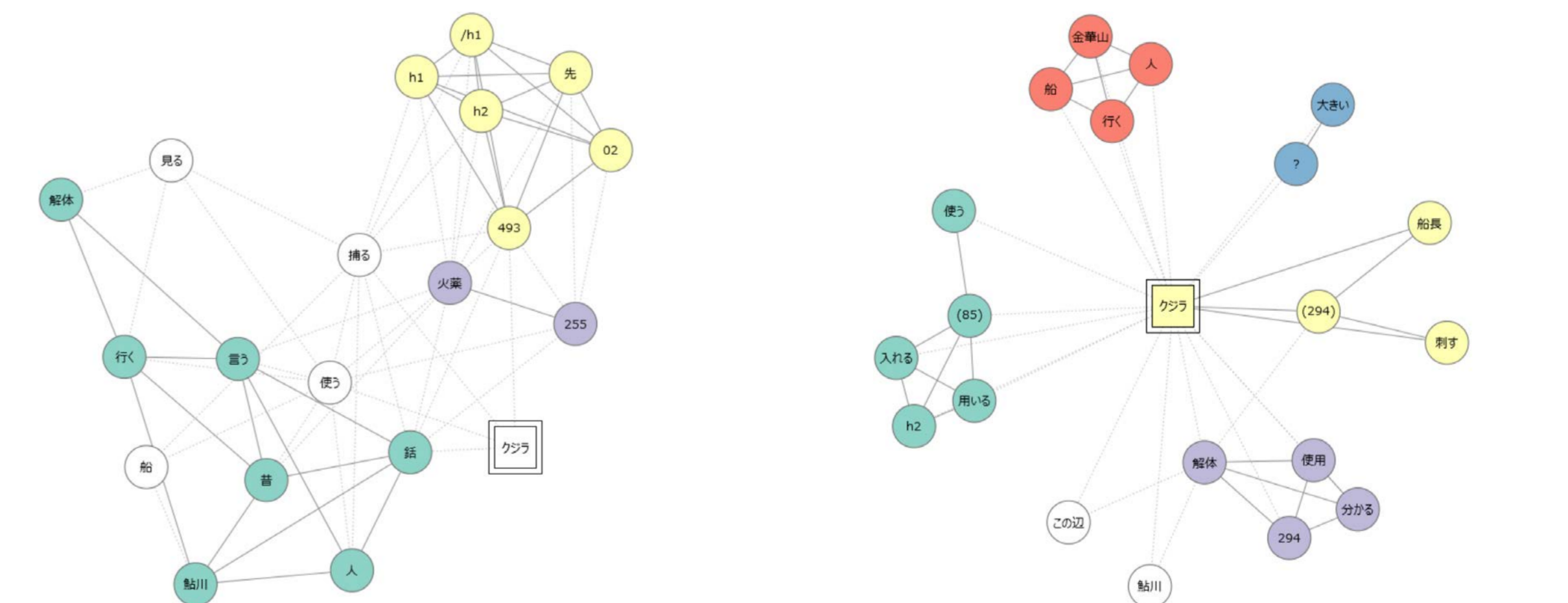
エピソードデータベース（ナラティブ分析）



展示来場者に資料を通じて、資料の使い方や生活の思い出などを聞き取る。聞き取った内容は聞き書きシートに記録する。話を聞いた人の属性やもろんのこと、話の雰囲気やどの資料をきっかけに話が展開したのか等も記録する。モノをきっかけとしたナラティブ（語り）が集約されていく。

「クジラ」との共起語分析

最低文章数 5
上位 20 (共起 サブグラフ抽出 Modularity)
クジラ 鮎川 16回 仙台 63回



第一回文化財レスキュー展 2012年8月12-14日 石巻市民館
聞き書きシート 65枚 男性 41 女性 20 その他 4
20代以下 5 30-40代 18 50-60代 20 70代以上 8 その他 16

第二回文化財レスキュー展 2012年11月6日-8日 仙台メディアテーク
聞き書きシート 198枚 男性 88 女性 100 その他 10
20代以下 5 30-40代 19 50-60代 61 70代以上 61 その他 12



「カタリト」情報保持構成

紙媒体（カルテなど）：東北学院大学
トップページ&公開情報：WordPress
カルテ、日誌、聞き書きデータ（Closed）：WordPress
展示・イベントデータ（東北学院大学図書館）：Weko
動画（東北学院大学チャンネル）：Youtube
写真データ：Local HDD

将来的にはシステム更新も検討中

資料台帳：omeka
写真データ：Resource Space



本研究における活動記録の電子化・ウェブサイト運営等については、JSPS 科研費 [24700889]「デジタルナラティブを利用した被災文化財情報の活用研究」（代表：奥本素子）の助成を受けている。

また、2015年度より本資料群を対象として、JSPS 科研費 [15K01148]「ポスト文化財レスキュー期の博物館空白を埋める移動博物館の実践研究」（代表：加藤幸治）の助成を受けている。

日本文化財科学会第32回大会 2015.07.11, 12 東京学芸大学

